

窓口支援事例 【熊本県 知財総合支援窓口】

企業情報

人吉アサノ電機株式会社			
所在地	熊本県人吉市願成寺町 1130 番地		
ホームページ URL	https://h-asano-e.jp/		
設立年	2002年	業種	製造業（電気機械器具製造）
従業員数	150人	資本金	4000万円

企業概要

当社は、オムロンリレーアンドデバイス株式会社の生産協力会社として2002年7月より、マグネットリレーの生産委託を受けております。委託範囲としては、端子のプレス加工から接点溶接・接点カシメ・コイル巻線・組立・検査・出荷検査を委託されております。現在は成形部品の内作化へ取り組み、部品加工から完成までの一貫生産を構築しております。

品質については、オムロンのISO9001システムの中で品質改善活動を実践し、『品質最優先』で生産に取り組んでおります。



自社の強み

当社は、オムロン人吉株式会社の収束後設立した会社で、オムロンのもの作りの考えや姿勢を30年の歴史の中で学んできた経験豊富な人材が在職しております。

現在は、地場企業として「品質最優先」を会社方針に掲げ、顧客に満足して頂ける製品づくりを行っております。

生産は自動化されており、これらの設備のメンテナンス、改善改良できるメカ、エレキ（PC）の設計から製造までが可能な体制を保有しております。このような経験を活かして平成26年に、新製品「ピーク電力制御システム【エレワイズ】」を開発・販売開始しております。

工場内の様子



一押し商品

●ピーク電力制御システム【エレワイズ】

本製品は、工場や事業所内において、既設デマンド監視装置と連携してピーク時における電気使用量を予測し、自動制御を行う装置です。電力の使い過ぎ等の警告信号を受信すると、予め設定しておいた制御方式に従って自動的にエアコン等の機器を制御していくため、効率よい電力消費を実現することができ、現在の契約電力を下げる事が可能となります。

また、室外機のみを電流制御するため室内温度の急変もありません。更にメーカーや機種を問わず設置する事が可能であり、子機・親機を全て無線通信で繋ぐため配線工事等も不要となり、コストも圧倒的に抑えることができます。

ピーク電力自動制御システム

 ELEWIS SYSTEM
 (エレワイズ) = (電気を賢く使う)
商品名 エレワイズは登録商標です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

県の企業支援機関から、同社は独自事業として新製品開発を企画しているが、過去に自社単独での特許出願等の知財活動を実施した経験が無いため、開発初期段階から特許の取得検討等の支援をして欲しいとの連携要請を受け、権利取得に向けて支援を開始しました。

最初の相談概要

まず同社を訪問し、新製品の開発を開始するに至った経緯と、予定している製品機能や規格の概要及び、開発計画の概要について確認を行いました。更に、先行技術調査支援として、特許先願調査の重要性を説明し、併せて簡単な調査方法についての説明等を実施しました。

その後の相談概要

同社より「新製品のシステム開発仕様がほぼ確定し、試作品が出来た」との連絡を受けて訪問し、①試作品の技術内容の詳細な確認、②アイデアの発掘、③アイデアのブラッシュアップ、等のより具体的な特許出願支援を開始しました。併せて専門家（弁理士）派遣を2回実施し、更なるアイデアのブラッシュアップ後に特許出願：1件を行いました。

並行して、商標取得の必要性和ブランド戦略等について説明を行い、新製品【エレワイズ】の商標：2件の出願及び早期審査対応を実施し、権利取得を実現しました。

この新製品【エレワイズ】は、今年度5月から販売を開始し、予想を上回る順調な売り上げを推移できており、今後の主力商品として期待されています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の支援を通じて知財マインドの向上を図ることができました。特に、公的機関や民間施設等への【エレワイズ】の販売において、販売開始前に先行して商標取得・特許出願を実現した事により取引先からの信用を得ることができ、販売契約をスムーズに実施できています。このことから、改めて知財の重要性を認知されています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当初、知財に関連した知識をほとんど持っていない当社が、知財総合支援窓口の支援により新製品【エレワイズ】の商標登録・特許申請を行うことができました。また、今回の製品開発を進めて行く中で、知財に関する知識を深めることができました。中小企業の皆様には、是非、堅苦しく考えず気軽に知財総合支援窓口を活用して頂くことをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：吉本 隆夫）



「自社における独自事業を立ち上げる」と言う経営者と、新製品開発担当者のももの作りに対する熱い思いがひしひしと伝わってきました。このような相談者の熱意に負けないように、今後も県内の中小企業への支援に貢献したいと思っております。

窓口支援事例 【熊本県 知財総合支援窓口】

企業情報

人吉アサノ電機株式会社			
所在地	熊本県人吉市願成寺町 1130 番地		
ホームページ URL	https://h-asano-e.jp/		
設立年	2002年	業種	製造業（電気機械器具製造）
従業員数	138人	資本金	4000万円

企業概要

当社は、オムロンリレーアンドデバイス株式会社の生産協力会社として2002年7月より、マグネットリレーの生産委託を受けております。委託範囲としては、端子のプレス加工から接点溶接・接点カシメ・コイル巻線・組立・検査・出荷検査を委託されております。現在は成形部品の内作化へ取り組み、部品加工から完成までの一貫生産を構築しております。

品質については、オムロンのISO9001システムの中で品質改善活動を実践し、『品質最優先』で生産に取り組んでおります。



自社の強み

当社は、オムロン人吉株式会社の収束後設立した会社で、オムロンのもの作りの考えや姿勢を30年の歴史の中で学んできた経験豊富な人材が在職しております。

現在は、地場企業として「品質最優先」を会社方針に掲げ、顧客に満足して頂ける製品づくりを行っております。

生産は自動化されており、これらの設備のメンテナンス、改善改良できるメカ、エレキ（PC）の設計から製造までが可能な体制を保有しております。このような経験を活かして平成26年に、新製品「ピーク電力制御システム【エレワイズ】」を開発・販売開始しております。

工場内の様子



一押し商品

●ピーク電力制御システム【エレワイズ】

本製品は、工場や事業所内において、既設デマンド監視装置と連携してピーク時における電気使用量を予測し、自動制御を行う装置です。電力の使い過ぎ等の警告信号を受信すると、予め設定しておいた制御方式に従って自動的にエアコン等の機器を制御していくため、効率よい電力消費を実現することができ、現在の契約電力を下げる事が可能となります。

また、室外機のみを電流制御するため室内温度の急変もありません。更にメーカーや機種を問わず設置する事が可能であり、子機・親機を全て無線通信で繋ぐため配線工事等も不要となり、コストも圧倒的に抑えることができます。

ピーク電力自動制御システム

 ELEWIS SYSTEM
 (エレワイズ) = (電気を賢く使う)
商品名 エレワイズは登録商標です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

県の企業支援機関から、同社は独自事業として新製品開発を企画しているが、過去に自社単独での特許出願等の知財活動を実施した経験が無いため、開発初期段階から特許の取得検討等の支援をして欲しいとの連携要請を受け、権利取得に向けて支援を開始しました。

最初の相談概要

まず同社を訪問し、新製品の開発を開始するに至った経緯と、予定している製品機能や規格の概要及び、開発計画の概要について確認を行いました。更に、先行技術調査支援として、特許先願調査の重要性を説明し、併せて簡単な調査方法についての説明等を実施しました。

その後の相談概要

同社より「新製品のシステム開発仕様がほぼ確定し、試作品が出来た」との連絡を受けて訪問し、①試作品の技術内容の詳細な確認、②アイデアの発掘、③アイデアのブラッシュアップ、等のより具体的な特許出願支援を開始しました。併せて専門家（弁理士）派遣を2回実施し、更なるアイデアのブラッシュアップ後に特許出願：1件を行いました。

並行して、商標取得の必要性和ブランド戦略等について説明を行い、新製品【エレワイズ】の商標：2件の出願及び早期審査対応を実施し、権利取得を実現しました。

この新製品【エレワイズ】は、今年度5月から販売を開始し、予想を上回る順調な売り上げを推移できており、今後の主力商品として期待されています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の支援を通じて知財マインドの向上を図ることができました。特に、公的機関や民間施設等への【エレワイズ】の販売において、販売開始前に先行して商標取得・特許出願を実現した事により取引先からの信用を得ることができ、販売契約をスムーズに実施できています。このことから、改めて知財の重要性を認知されています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当初、知財に関連した知識をほとんど持っていない当社が、知財総合支援窓口の支援により新製品【エレワイズ】の商標登録・特許申請を行うことができました。また、今回の製品開発を進めて行く中で、知財に関する知識を深めることができました。中小企業の皆様には、是非、堅苦しく考えず気軽に知財総合支援窓口を活用して頂くことをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：吉本 隆夫）



「自社における独自事業を立ち上げる」と言う経営者と、新製品開発担当者のももの作りに対する熱い想いがひしひしと伝わってきました。このような相談者の熱意に負けないように、今後も県内の中小企業への支援に貢献したいと思っております。

窓口支援事例 【熊本県 知財総合支援窓口】

企業情報

人吉アサノ電機株式会社			
所在地	熊本県人吉市願成寺町 1130 番地		
ホームページ URL	-		
設立年	2002年	業種	製造業（電気機械器具製造）
従業員数	138人	資本金	4000万円

企業概要

当社は、オムロンリレーアンドデバイス株式会社の生産協力会社として2002年7月より、マグネットリレーの生産委託を受けております。委託範囲としては、端子のプレス加工から接点溶接・接点カシメ・コイル巻線・組立・検査・出荷検査を委託されております。現在は成形部品の内作化へ取り組み、部品加工から完成までの一貫生産を構築しております。



品質については、オムロンのISO9001システムの中で品質改善活動を実践し、『品質最優先』で生産に取り組んでおります。

自社の強み

当社は、オムロン人吉株式会社の収束後設立した会社で、オムロンのもの作りの考えや姿勢を30年の歴史の中で学んできた経験豊富な人材が在職しております。

工場内の様子



現在は、地場企業として「品質最優先」を会社方針に掲げ、顧客に満足して頂ける製品づくりを行っております。

生産は自動化されており、これらの設備のメンテナンス、改善改良できるメカ、エレキ（PC）の設計から製造までが可能な体制を保有しております。このような経験を活かして平成26年に、新製品「ピーク電力制御システム【エレワイズ】」を開発・販売開始しております。

一押し商品

●ピーク電力制御システム【エレワイズ】

本製品は、工場や事業所内において、既設デマンド監視装置と連携してピーク時における電気使用量を予測し、自動制御を行う装置です。電力の使い過ぎ等の警告信号を受信すると、予め設定しておいた制御方式に従って自動的にエアコン等の機器を制御していくため、効率よい電力消費を実現することができ、現在の契約電力を下げる事が可能となります。

また、室外機のみを電流制御するため室内温度の急変もありません。更にメーカーや機種を問わず設置する事が可能であり、子機・親機を全て無線通信で繋ぐため配線工事等も不要となり、コストも圧倒的に抑えることができます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

県の企業支援機関から、同社は独自事業として新製品開発を企画しているが、過去に自社単独での特許出願等の知財活動を実施した経験が無いため、開発初期段階から特許の取得検討等の支援をして欲しいとの連携要請を受け、権利取得に向けて支援を開始しました。

最初の相談概要

まず同社を訪問し、新製品の開発を開始するに至った経緯と、予定している製品機能や規格の概要及び、開発計画の概要について確認を行いました。更に、先行技術調査支援として、特許先願調査の重要性を説明し、併せて簡単な調査方法についての説明等を実施しました。

その後の相談概要

同社より「新製品のシステム開発仕様がほぼ確定し、試作品が出来た」との連絡を受けて訪問し、①試作品の技術内容の詳細な確認、②アイデアの発掘、③アイデアのブラッシュアップ、等のより具体的な特許出願支援を開始しました。併せて専門家（弁理士）派遣を2回実施し、更なるアイデアのブラッシュアップ後に特許出願：1件を行いました。

並行して、商標取得の必要性とブランド戦略等について説明を行い、新製品【エレワイズ】の商標：2件の出願及び早期審査対応を実施し、権利取得を実現しました。

この新製品【エレワイズ】は、今年度5月から販売を開始し、予想を上回る順調な売り上げを推移できており、今後の主力商品として期待されています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の支援を通じて知財マインドの向上を図ることができました。特に、公的機関や民間施設等への【エレワイズ】の販売において、販売開始前に先行して商標取得・特許出願を実現した事により取引先からの信用を得ることができ、販売契約をスムーズに実施できています。このことから、改めて知財の重要性を認知されています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当初、知財に関連した知識をほとんど持っていない当社が、知財総合支援窓口の支援により新製品【エレワイズ】の商標登録・特許申請を行うことができました。また、今回の製品開発を進めて行く中で、知財に関する知識を深めることができました。中小企業の皆様には、是非、堅苦しく考えず気軽に知財総合支援窓口を活用して頂くことをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：吉本 隆夫）



「自社における独自事業を立ち上げる」と言う経営者と、新製品開発担当者のももの作りに対する熱い思いがひしひしと伝わってきました。このような相談者の熱意に負けないように、今後も県内の中小企業への支援に貢献したいと思っております。